

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、都市環境デザイン工学科	
国語Ⅱ (Japanese Ⅱ)	担当教員	田中 智樹 (Motoki,Tanaka)	
	教員室	図書館2階(内線 9040)	
	E-Mail	m-tanaka@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	授業(100分)×30回		
〔本科目の目標〕 近現代の様々な文章および古典を読む能力を高めるとともに、ものの見方、考え方を深め、進んで表現する態度を育てる。			
〔本科目の位置付け〕 現代文を中心に古文、漢文の各領域において、作者の意図するところを正しくくみ取り、より深い作品理解を目指す。一年次の内容を発展的に習熟させ、総合的な国語力の向上を図る。			
〔学習上の留意点〕 教材の中の様々な問題について自分の意見を持ち、的確に表現できるようにする。常用漢字、重要語句を確実に修得する。また、授業に積極的にに関わり、教師からの質問にも進んで答えるよう心がける。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
【現代文】1 評論 「場所と経験」	3	・漢字・語句を正しく読み書きし、またその意味が理解できる。 ・段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を理解できる。	・教科書P36-P39を読み、内容を把握しておく。
2. 小説 「山月記」	5	・漢字・語句を正しく読み書きし、その意味が理解できる。 ・李徴が虎に変身するまでのプロセスを正確に把握する。 ・袁慆に訴える悩みの内容が、語るにつれてどのように変化していくかを理解し、それに対する袁慆の感想を対置させながら、李徴が真実に気づいていく過程を整理する。	・教科書P22-P34を読み、内容を把握しておく。 ・語句や漢字、表現について調べておく。
3 表現 --- 前期中間試験 ---	7	・文章作成の基礎としてレポート・論文の書き方を学び、テーマを絞る技術を身に付けることができる。 授業項目1, 2, 3について達成度を確認する。	・参考書プラクティカル日本語P53-P56を読み内容を把握しておく。
4 評論 「共生システム」	3	・語句の意味・用法を理解し、漢字を正しく読み書きできる。 ・「共生」ということばを中心に、筆者の論理展開を理解することができる。	・教科書P66-P72を読み内容を把握しておく。 ・教科書P55-P60を読み内容を把握しておく。
5. 詩歌(詩) 「永訣の朝」	2	・作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを知ることができる。 ・妹への深い愛情とその死が歌われていることを理解し、詩人の深い思いを読み取ることができる。	
6 詩歌(短歌) 「短歌」	2	・詩に用いられている方言の効果を考え、詩の世界を味わうことができる。 ・和歌特有の表現・修辞を正しく理解し、作者の意図(主題)を理解することができる。 ・詩人の発想やそこに込められた思いを踏まえ、詩の世界を味わい、その表現性を十分に楽しむことができる。	・教科書P61-P63を読み内容を把握しておく。
7 表現 --- 前期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	6 2	・さまざまな文章の形式を学び、それらの「型」をレポート及び論文に発展させることができる。 ・授業項目4～7について達成度を確認する。 ・各試験において間違った部分を理解できる。	・参考書プラクティカル日本語P57-P70までを読み内容を把握しておく。
【古文】8 随筆 枕草子 「春はあけぼの」	4	・枕草子の作品及び作者の文学史上の価値・位置づけが理解できる。 ・古語の意味及び古文特有の表現を理解できる。 ・基本的な文法事項だけでなく、敬語の使い方が理解できる。	・教科書P18-P19を読み、作品や単語について調査しておく。

